

府老連

きょうと

2023.1
No.174



若手委員会の「ボッチャ&ニュースポーツ」

「ボッチャ」の普及を目指して

12月2日に八幡市民体育館で、府老連としては初めての「ボッチャ講習」を開催しました。若手委員会では、これまで4年にわたり「公式ワナゲ」の普及に取り組んできましたが、ニュースポーツの新たな柱として「ボッチャ」の普及を目指しています。

当日は、参加者105名、24チームによる対抗戦で盛り上がりました。



「コロナ」の収束を願い、さらに前進

(一財) 京都府老人クラブ連合会
会長 橋本俊次

新年あけましておめでとございませう

会員の皆様には、輝かしい新春を寿ぎお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、当会の行催事をはじめ運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「コロナ禍」も3年を経過し、収束が見通せない中ではありましたが、感染防止に工夫を凝らしながら、概ね当初の計画どおり実施することができました。これもひとえに各市町村老連の皆様をはじめ、関係者各位のご協力のおかげと深く感謝申し上げます

昨年を振り返ってみますと、6月には3年ぶりとなる「近畿ブロックリーダー研修会」が大坂で開催され、近畿府県の仲間が一堂に会して交流することができました。

7月には、「市町村老連リーダー研修会」をハートピア京都で、9月から10月にかけては、府内全ブロックで「女性リーダー研修会」を開催しました。久しぶりの開催とあって、3会場とも趣向を凝らしたプログラムの中、熱の入った活動発表と交流で大きく盛り上がりました。

10月は、西脇知事、菅谷議長のお賓をお迎えして、155名が参加して「第43回京都府老人クラブ大会」を盛会裏に開催することができました。そして、11月には「全老連創立60周年記念全国大会」が、天皇・皇后両陛下のご臨席のもと、東京の国技館で挙行され、府老連からは14名が出席し、栄えある厚生労働大臣表彰が授与されました。

12月の若手リーダー研修会「ポッチャ&ニュースポーツ体験」では、八幡市民体育館で4種目にわたって熱戦が繰り広げられました。

コロナ禍の中でしたが、年間をとおして行事を実施することができ、会員の皆さんが元気に参加いただいたことを、大変うれしく思います。

さて、年末には令和4年の世相を表す漢字一文字は「戦」に決まりました。ウクライナ侵攻やサッカーワールドカップでの戦い等で選ばれたと思いますが、われわれ高齢者は、コロナ感染症との「戦」のなか、1日も早い収束を願い、新しい年はマスクなしで、会員同士が自由に交流できることを願ってやみません。

最後になりましたが、会員皆様の益々のご健康とご活躍を心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

謹賀新年

(一財) 京都府老人クラブ連合会 (きらりクラブ京都)

監事	理事	常務理事	副会長	会長
岩本 正明 (与謝野町)	岩永 英光 (長岡京市)	中川 剛 (事務局長)	柳田 正廣 (京田辺市)	橋本 俊次 (宮津市)
塩見 康郎 (福知山市)	小和田宏子 (舞鶴市)	武藤 守 (宇治市)	林 昭 (亀岡市)	
今堀 正嗣 (長岡京市)	中川百合子 (木津川市)	安田 行雄 (城陽市)	森口 茂樹 (京丹後市)	
齊藤 正剛 (宮津市)	宇治タカ子 (城陽市)	小山 文明 (八幡市)	井手口温美 (亀岡市)	
田中 健 (木津川市)	渋谷スミ子 (京田辺市)	岡田 勇 (和束町)	大道 俊樹 (綾部市)	
西林千代美 (八幡市)	松本 和徳 (福知山市)	中澤 義久 (南丹町)		



「あたたかい京都づくり」へ邁進まい

京都府知事 西 脇 隆 俊

あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナとの闘いも3年になろうとしています。長きにわたり感染防止対策に取り組んでいただいている皆さま、そして、医療従事者をはじめ関係の皆さまに、心から感謝と敬意を表します。

昨年は新型コロナの拡大に加え、ロシアによるウクライナ侵攻や世界的な物価高、さらに記録的な円安などに見舞われ、今も社会生活への甚大な影響が続いています。こうした情勢の中でも安心して豊かに暮らし、将来に向かって夢を抱くことができるよう、「あたたかい京都づくり」を進めていくことを決意し、総合計画を1年前倒しして改定しました。同計画に基づく施策を令和5年度当初予算に盛り込みます。

「時が物事を変えると人は言うが、実際は自分で変えねばならぬ」
 ～ They always say that time changes things, but you actually have to change them yourself ～。これは米国の芸術家アンディ・ウォーホルの言葉です。今年3月、いよいよ文化庁が京都で業務を開始し、明治維新以来初の中央省庁移転が実現することとなりました。

た。彼が言うように、この歴史的な出来事が私たちに何をもたらすかではなく、私たちがこの機会をどう活かしていくかが問われます。「文化の都・京都」の実現に向け、国と地方が連携して日本各地の文化に光を当て、世界へ発信し、ここ京都から新たな文化の潮流を起こしたいと考えています。

この他、「社会で子どもを育てる京都」の実現に向け、子育て環境日本一の取り組みを進化させてまいります。また、京都の強みである大学の「知」と学生の「力」を積極的に地域や企業に取り入れ、京都の活力を生み出してまいります。そして新名神高速道路開通や、大阪・関西万博開催などの好機を活かし、京都の発展に取り組んでまいります。

今年卯年です。その愛らしい姿と温厚な性質で「家内安全」を、跳躍する姿で「飛躍」を象徴するウサギの年にふさわしく、皆さまと共に「あたたかい京都づくり」へ邁進してまいり所存です。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

第43回

京都府老人クラブ大会

～ ポストコロナを見据え、さらなる「健康づくり」「仲間づくり」を!! ～



橋本会長あいさつ



菅谷府議会議長



西脇知事

続いて、ご来賓の西脇隆俊京都府知事、菅谷寛志京都府議会議長から、高齢社会における老人クラブへの期待や温かい激励のお言葉をいただきました。

その後、京都府知事から「育成功労者表彰」「優良老人クラブ表彰」が、また、府老連会長から会長表彰が授与されました。

午前の式典では、橋本俊次府老連会長が「3年にわたるコロナ禍の影響を受け、会員数の大幅な減少を余儀なくされたが、このような時こそ、高齢者の方が地域で孤立することのないよう、また、家に閉じこもって不健康にならないよう、会員皆さんで支え合ひましょう。」とあいさつ。

式典

第43回京都府老人クラブ大会が、10月13日に、府内23市町老連から155名が参加して、ホテルルビノ京都堀川で開催されました。

大会宣言

人生100年時代を迎え、高齢社会が本格化する中、高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも健康で安心して暮らせるよう、各市町村では「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。

そのようななか、私たち老人クラブがこれまで取り組んできた「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動は、ますますその重要性を増しています。

とりわけ、長引くコロナ禍のなかで、高齢者が地域で孤立することのないよう、また、気力の低下や生活の不活発を招くことのないよう、共に支え合う「友愛活動」をはじめ、「健康づくり・介護予防活動」を一層推進していくことが求められています。

私たち老人クラブ会員は、「のばそう!健康寿命、担おう!地域づくりを」のメインテーマのもと、次の重点事項の実践を誓い、ここに宣言します。

- 1、高齢者の社会参加を働きかけ、仲間づくりの輪を広げます
- 1、健康づくり・フレイル（虚弱）予防で、元気高齢者をめざします
- 1、友愛活動を基盤に、行政や自治会、社会福祉協議会と連携した支え合い活動に努めます
- 1、高齢者の「消費者被害」や「交通事故防止」に向けた取組を地域で実践します
- 1、高齢者の尊厳が守られる諸制度・地域共生社会の実現をめざします



佐堀さんへの知事表彰

その後、井手口府老連副会長が5項目の実践を誓った「大会宣言」を読み上げ、満場の拍手で承認されました。最後に柳田副会長があいさつを述べ、式典の部を終了しました。



京都府知事表彰受賞者

●育成功労者（14名）

松村 良一（宇治市）
伊部 一郎（城陽市）
今堀 正嗣（長岡京市）
西林千代美（八幡市）
西川 登夫（京田辺市）
井口 善夫（久御山町）
細見 茂（福知山市）
佐堀つぎ枝（綾部市）
井手口温美（亀岡市）
橋本 俊次（宮津市）
岩田 進（宮津市）
吉岡 弘陸（京丹後市）
糸井 満男（与謝野町）
畠山 伸枝（与謝野町）

●優良老人クラブ（6クラブ）

南遊田第一喜老会（宇治市）
バンブークラブ（八幡市）
藤寿会（久御山町）
精華台四丁目ゆうゆう倶楽部（精華町）
平野町四ツ葉会（福知山市）
城南ことぶき会（宮津市）

京都府老人クラブ連合会会長表彰

●育成功労者（33名）
●優良老人クラブ（7クラブ）
●会員増強運動特別賞
たんぼぼシニアクラブ（久御山町）

講演

午後には、舞鶴市老連「ゆうさい連」による、迫力ある「よさこい踊り」が披露され、会場を沸かせました。



その後、「医学知識を音楽にのせて」と題して、**鈴鹿内科医院の鈴鹿隆之院長先生**から、音楽を奏でながら、認知症の予防や日頃の健康づくりについてお話をいただきました。

健康長寿の秘訣として、人間ドック等で体の状態をチェックしながら、「栄養」「運動」「社会参加」の三本柱でフレイル（虚弱）を予防することなど、わかりやすくお話くださいました。

アコーデイオン、シンセサイザーの腕前はプロ級で、会場は終始大きな拍手に包まれました。



最後の締めくくりとして、森口副会長があいさつを述べ、大会は盛会裏に終了しました。

全老連創立60周年記念・全国老人クラブ大会

～天皇・皇后両陛下のご臨席のもと、「大臣表彰」が授与されました。～

厚生労働大臣表彰

●育成功労者

田中 丈夫（綾部市）
市老連会長を9年、並びに平成26年から府老連の監事・理事・副会長を8年にわたって歴任され、老人クラブの育成発展に大きく寄与されました。

岡本 勇（京丹波町）

町老連会長を2度歴任され、その間「旧3町支部」の体制を確立。府老連においては、平成23年設立の「若手委員会」の副委員長、26年から第3代委員長を3年間にわたり歴任され、若手委員会の基盤を固められました。

●優良老人クラブ

城南荘喜老会（宇治市）

58年の歴史を有する、宇治市連合喜老会の中心的な単位クラブ。集会所を拠点に「木曜カフェ」をはじめ、地元自治会と協力して「奉仕活動」や「世代間の交流」など、活発な活動を展開されている。

●優良市区町村老連

福知山市老人クラブ連合会

平成16年に1市3町の老連で新たに福知山市老連を結成。旧3町に「支部の事務局」を設置して組織を拡充。コロナ禍にあっても「コロナ相談室」の開設や、個人でも幅広く活動できる「自由クラブ」の立ち上げなど、常に新しい取組にチャレンジし、府内老連の模範となっている。

全国老人クラブ連合会会長表彰

●育成功労者

福本 淳子（八幡市）

●優良老人クラブ

浪花きらく会（宮津市）

●活動賞

久寿会（長岡京市）

※全国大会の様子は7ページに掲載

令和4年度 市町村老連リーダー研修会

～ 人生 100 年時代を、いつまでも元気で、いきいきと～



春日キスヨ先生の講演



「100まで生きる覚悟」と題して、元松山大学教授の春日キスヨ先生からお話をいただきました。

先生から『人生100年時代といわれて久しいが、ピンピンコロリといける人は1割しかないのが現実。最後まで生き続けるためには何が必要で、頼れる人はだれか、地域でのつながりをどう保つか、それが重要。そのためには「3つのきん」が大切。それは、①お金 ②筋肉 ③近所力 であり、私たち高齢者は早い段階から準備するべき。』と、わかりやすくお話いただきました。

7月20日、ハートピア京都で102名が参加して開催されました。両講演とも講師先生の熱の入った話に聞き入り、これからの活動に大変役立つ研修となりました。



桂三扇さんの落語

続いて、「笑って 笑って、健康寿命もアップ!」と題して、落語家の桂三扇さんから楽しく元氣のお話をいただきました。

福知山市出身の三扇さんは「福知山音頭」の出囃子で登場。親を介護する年代の立場からのお話や、シルバークロウエディングの落語、そして南京玉すだれと盛りだくさんの内容であったという間の40分でした。

～ 府内各地域の取組から～

3年にわたるコロナ禍の中、私達人間クラブの活動も自粛を余儀なくされてきました。コロナ禍も徐々に収束に向かいつつありますが、そのような中、イベントを再開し、新たな取組も展開されています。

丹後ブロック

9月26日、快晴のもと、宮津市民グラウンドにおいて、5市町から144名(24チーム)が参加して「グラウンドゴルフ交流大会」が開催。大会を通して市町間の交流を深め、日頃の運動不足を解消。来年度は舞鶴市で開催されます。

山城ブロック

10月26日、精華町打越台グラウンドにおいて、7市町村のチームが参加して「第35回山城ブロックゲートボール大会」が開催されました。

また、11月25日、木津川市の不動川公園グラウンドで、9市町村22チームが参加して「第9回京都府知事杯親善グラウンドゴルフ大会」が開催。

いずれも3年ぶりの大会とあって、存分に競技を楽しみ、お互いの親睦を深め、日頃の練習の成果を発揮しました。



全国老人クラブ連合会創立60周年記念 全国老人クラブ大会



写真提供 全国老人クラブ連合会

11月8日に、東京都両国の国技館で天皇・皇后両陛下のご臨席のもとに開催されました。参加者は全国から850名、府老連からは14名（男性11名、女性3名）が参加しました。

◆全老連創立60周年を記念して

昭和30年代に全国各地で老人クラブ連合会が設立され、昭和37年には「全国老人クラブ連合会」が設立。令和4年に創立60周年を迎えました。

式典

◆大会で陛下があいさつ

「式典」では、天皇陛下がおことばを述べられました。陛下は「皆さんのこれまでの経験と知恵を若い世代に伝え、老人クラブが、高齢者の社会参加や明るい地域づくりのために、重要な役割を果たしていくことを期待します」とあいさつされました。続いて厚生労働大臣表彰等が行われ、「10年の節目にあたる記念大会で受賞できるのは光栄」と、受章者の喜びもひとしおでした。



○厚生労働大臣表彰 育成功労者



田中 丈夫（綾部市）
岡本 勇（京丹波町）

※写真左から、敬称略

○優良老人クラブ 優良市町村老連



福知山市老人クラブ連合会
会長 松本 和徳（宇治市）
城南荘喜老会（宇治市）
会長 石川 祐弘

全老連会長表彰

○育成功労者 優良老人クラブ



福本 淳子（八幡市）
浪花きらく会（宮津市）
会長 矢野 喜久男

ポストコロナに向けて

やすらぎクラブ長岡京

○「会員優待カード」を発行!

やすらぎクラブ長岡京では、市内の店舗などで割引やサービスを受けられる「会員優待カード」を発行しました。

「わかりやすいメリットを設けて、入会を考えるとまあおう」と、本年度の新しい取り組みとして企画。

中田正紀会長ら役員が地域の店舗や事業所を巡り、「高齢者にやさしいお店」への協力を依頼。9月に43カ所にのぼったことから、10月に優待制度をスタートしました。

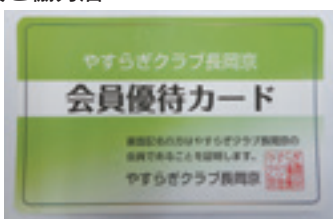
○クラブ加入のメリットで、会員増強

優待の内容は、店舗により割引率や、ポイントのアップなどそれぞれ。今後も協力店は随時受け付け、「100店舗を目指したい」としています。

「①家に閉じこもらずに外出を促し、②同時に地元商店街の振興にも役立ち、そして、③新規会員の獲得にもつながる」と、一石二鳥を期待しています。



中田会長と協力店



新たな「府老連会員増強運動」

～ クラブ解散の防止と楽しい活動を！ ～



仲間を増やそう

長引くコロナ禍の影響を受け、各市町村老連では活動の自粛等により、新規加入者を確保することが難しくなる一方、クラブの解散や老連からの脱会など、厳しい状況が続いてきました。

こうした中、令和3年度において、会員数は4518名、9.4%の大幅な減となり、過去最大の減少となりました。

府老連では、クラブの解散・退会がこれ以上拡大・連鎖しないよう、「アンケート調査」を実施して、減少した原因を分析するとともに、新たな取り組みを進めることとしています。

会員増強運動アンケート調査結果概要（抜粋）

昨年9月に、全市町村老連に対して、アンケートを実施しました。その結果を踏まえて、これからの「推進方策」を取りまとめることとしています。全29項目の設問の中から、その一部を報告します。

1 これからの「新たな加入促進策」

設 問	回 答	
問4. 「クラブ・サークル」の活動で、会員が増加した事例は？	○クラブ活動で、多数入会した事例がある【クラブ名】 ・囲碁リーグ、百人一首、フラダンス、健康マージャン、大正琴クラブなど	10
	○そのような事例は特にない	13
問5. 会員増強につなげるため、最近「新たに設立したクラブ等」は？	○ある【クラブ名】 紙飛行機サークル（久御山町）、健康マージャン（宇治田原町）、自由クラブ（福知山市）、脱会クラブを「希望クラブ」と命名（亀岡市）、恵美寿会（京丹後市）、「会員優待カード」を発行（長岡京市）	7
問7. 今後、「特に力を入れた取組」は？	○「体験型」の事業や行事・ニュースポーツの実施	14
	○市町村老連の「名称変更」	4
	○「個人会員制度」の導入	10
	○「サークル活動の強化」	6
	○その他	5
(分析) ▶「単位クラブ」の加入促進に加えて、多くの老連では「クラブ・サークル活動」を入口とした勧誘が行われている ▶会員増強につなげるため、長岡京市の「会員優待カード」の発行など、新しい取組も進められている		

2 単位クラブの「解散・退会の防止策」

問10. 単位クラブの「解散・退会の主な原因」は？	○会員の減少により活動の継続が困難になった	12
	○会長のなり手がない	19
	○地域での解散の連鎖による	5
	○老連に加入してもメリットがない	6
	○その他	4
・若手や新入会員が入ってこない。 ・仕事をされている方の年齢が75歳程度まで年々上がっている。		

設 問	回 答	
問11. 「解散等の動き」（サイン）がある場合の老連の対応は？	○老連役員が、単位クラブから事情を聴きとり、相談した ○老連が、自治会・町内会長に支援を要請した ○会長のなり手がいない場合、会長の擁立を働きかけた	18 5 10
問12. 老連の働きかけにより、「解散を未然に防いだ事例」は？	○解散を未然に防いだ事例がある ○防止できた事例はない	8 14
<p>（分析）</p> <p>▶クラブ解散・脱会の原因として、「会員の減少」と「会長のなり手がいない」ことが最大の要因</p> <p>▶老連役員が直接事情を聞き取り、「会長の擁立」を働きかけるなど、ほとんどの老連で解散を防止する対策を実施している</p>		

3 市町村老連の「単位老人クラブへの支援策」

問13. 「解散」を避けるために、「退会や休会に誘導」した事例は？	○解散せずに、できる限り退会・休会に誘導している ○特に退会・休会に誘導していない ○その他 ・会員が30名以下でも、連合会で助成金を交付して、クラブを維持	12 5 6
問14. 解散・退会後も「クラブの復活・再入会の働きかけ」を行っていますか？	○老連役員が出向いて、クラブ復活を働きかけている ○退会したクラブにも老連の行事案内や機関紙を送付している ○特にしていない	8 4 10
問15. クラブが「復活・再入会した事例」は？	○事例がある（クラブの復活9、クラブの再入会3） ○事例はない	12 11
問16. 「近隣クラブとの統合」や「個人会員制度」の事例は？	○近隣の老人クラブと「統合」して会員を受け入れた ○老連の「個人会員制度」を設置している ※（ ）は、設置年度と会員数 ・宇治市（平30）・久御山町（平24、9人） 福知山市（令3、67人）・綾部市（平30、10人） 南丹市八木老連（令4、8人）・舞鶴市（令2、17人） 伊根町（令4、2人） ○特にしていない	7 7 12
問19. 「会長のなり手がいない場合」に、対処した事例は？	○自治会・町内会長に、会長になってもらった ○暫定措置として、老連の役員や支部長が会長になった ○副会長が会長を「代行」し、クラブを存続した ○会長が不在のまま、クラブを存続した	1 1 8 1
問27. 市町村からの「特別な支援」は？	○事務局職員の支援を受けている（嘱託・人件費補助・その他） ○事務所（部屋）の提供を受けている（有料 or 無料） ○町村役場が事務局を担当している	9 11 6
<p>（分析）</p> <p>▶「解散」をできる限り避け、一旦「退会」や「休会」に誘導している老連が約半数</p> <p>▶「退会」したクラブに対しても、引続き行事の案内や機関紙を送付するなど、1/3の老連で復活に向けて働きかけている</p> <p>▶解散クラブの会員の「受皿」として、約半数の老連で「個人会員制度」が設置されている</p>		



ブロック別 女性リーダー研修会を開催

～コロナに負けず、3年ぶりに全ブロックで開催！～



ある「よさこい」が披露されました。

続いて、「舞鶴ゆうさい連」による迫力

午前は、あそびの工房もくもく屋の田川雅規さんから、「コロナに負けず、楽しさまで自粛しないようにしましょう！」と講演。

◆ 講演・活動交流
◆ 「舞鶴引揚記念館」見学

丹後ブロック 9月14日(水)

舞鶴市中総合会館 参加者：88名

女性リーダーの育成を目的に、3会場で「女性リーダー研修会」が開催されました。

コロナ禍の中、一部中断されていた本研修も、3年ぶりに3ブロックすべてで実施。

久しぶりの開催とあって、いずれの会場も大盛況で、交流も深まりました。

5名の皆さんは全員が70代で、よさこいを続けて10年。途中でやめずに長く続けることが健康の秘訣とのこと。

その後、インストラクターの指導のもと「ストレッッチ体操」を行いました。

午後は、「舞鶴引揚記念館」を見学。舞鶴港では、終戦後13年にわたって、シベリアに抑留された66万人もの引揚者を受け入れたことなど、戦争の悲惨さを改めて認識しました。

山城ブロック 9月29日(木)

神戸方面視察 参加者：54名

◆ バイクルーズで神戸港視察
◆ 兵庫県老連女性部との交流



8市町の女性委員約50名が午前8時半に京都駅に集合し、バスで神戸に向けて出発。神戸港では兵庫県老連女性委員の11名と合流し、遊覧船「ロイヤルプリンセス号」に乗船しました。

船上デッキから震災後復興した神戸の街並みを視察。

神戸港は、平成7年1月の阪神・淡路大震災により大きな被害を受けましたが、わずか2年で復旧し、平成18年には「神戸



空港」が開港されるなど、復興の様子を間近に見ながら神戸のバイクルーズを楽しみました。

三ノ宮の昼食会場で**兵庫県老連と交流**し、兵庫県から中村会長、京都から井手口女性委員長があいさつされ、双方の取組について意見交換を行いました。



昼食後は同じバスに同乗して「北野工房のまち」など、神戸の名所を巡りながら、交流を深めました。

丹波ブロック 10月4日(火)

ガレリアかめおか 参加者：93名

◆「大本」・「丹波亀山城址」

& 「サンガスタジアム」見学

◆講演・活動交流

午前10時に5市町のバスが大本駐車場に集合。

「大本」と明智光秀が築城した「**丹波亀山城址**」、「花明神植物園」をガイドに案内していただきながら見学しました。



その後、JR亀岡駅前に建設されたばかりの「**サンガサッカースタジアム**」を見学し、21,000人を収容する大スタンドと、見事な芝生に一同圧倒されました。

「ガレリアかめおか」に移動した後、午後の部は、**くらし整えナースの富樫明美さん**から「元気にくらせるおウチの整え方」整理収納で自分らしい暮らしを」と題して、永年の看護師の経験を活かした、シニア向けの整理収納をわかりやすくお話いただきました。

続いて、亀岡市から「オカリナ演奏」「踊り」「ハンドパン演奏」、福知山市から「詩吟」の発表があり、午前・午後と盛りだくさんの内容で、中身の濃い研修会となりました。



参加報告 府老連 柳田副会長

「神奈川に 咲かせ長寿の いい笑顔」をテーマに11月12日～15日、「**全国健康福祉祭かながわ大会**」が開催されました。

府老連からは、11月14・15日に橋本会長、森口副会長、柳田副会長、中川事務局長の4名が参加しました。

地域文化伝承館

14日は横浜産賀ホールで開催されている「地域文化伝承館」を見学。神奈川県内の老連が出展するブースを見て廻り、展示の説明を受けるなど、交流することができました。



総合閉会式

15日は横須賀芸術劇場で行われた「総合閉会式」に出席。開会のアトラクションの後、大会旗の引継ぎ、次期開催地からは、愛媛県ゆかりの小説「坊ちゃん」を題材としたミュージカルが披露され、最後は出演者全員による合唱で感動的なフィナーレとなりました。





若手リーダー研修会

～「ボッチャ&ニュースポーツ」～



12月2日、八幡市民体育館において、「若手リーダー研修会」ボッチャ&ニュースポーツ体験」を開催しました。
若手委員をはじめ府内17市町村から105名が参加して、ニュースポーツを楽しみました。

若手委員会では、これまでニュースポーツの柱として、「公式ワナゲ」の普及に力を入れてきました。今回、第2の柱として、誰でも楽しめる、屋内でできる「ボッチャ」の普及を計画。
当日、参加者は2組に分かれて、ボッチャ講習とニュースポーツを同時進行で行いました。

ボッチャ講習

「京都ボッチャ協会」の平木会長から競技ルールが説明され、3コートに分れて講習がスタート。

目標となるジャックボール（白玉）をめがけて赤・青チームの各3名がボールを投げ、どちらがより近づけるかを競いました。

ほとんどの参加者は初めての経験でしたが、ボールの投げ方のコツや作戦を考えるまでに上達。

「ボッチャがこんなに楽しいとは」

「これなら地域の公民館でもできる」など、新たなニュースポーツの柱として「ボッチャ」の普及が期待されます。



平木会長のルール説明

ニュースポーツ体験

今回は、「公式ワナゲ」のほか、フレンドリー情報センターの西尾さんから新しい2種目が紹介されました。

①モルック：モルック（20cmほどの木の棒）を投げて、倒れた12本の得点用の棒の本数によって、50点ピッタリになるまで得点した方が勝ちというゲーム

②スカットボール：マットの上にはスカット台を乗せ、ボールをスティックで打って、スカット台の穴にボールを入れるゲーム

初めて体験する人が多いなか、チーム対抗戦で盛り上がり、あっという間に時間が過ぎました。



スカットボール



モルック

府老連

2023. No. 174

きょうと

令和5年1月発行 発行人 橋本 俊次

発行 (一財)京都府老人クラブ連合会
(愛称: きらりクラブ京都)

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入ル清水町375
京都府立総合社会福祉会館
(ハートピア京都) 8階

TEL (075) 256-7955 FAX (075) 256-7956

E-mail: mail@k-furouren.or.jp

URL: http://www.k-furouren.or.jp



きらっ都くん

編集後記

「コロナ」の収束が見通せない中でしたが、女性委員会では、全てのブロックで3年ぶりに女性リーダー研修会を開催することができました。
研修を通じて「お久しぶり!」「お元気そうで!」と声を掛け合い、こうした会員同士の交流がいかんほど大切であるか、身に染みて感じる事ができました。
活動を通して「楽しみ」を共にし、お互いにコロナに負けず、励まし合える。
そのような老人クラブの本当の良さや楽しさを実感することができた、そんな一年であったと思います。

(女性委員 井手口)